

大阪市立総合医療センター
大阪公立大学医学部附属病院

合同市民医学講座

人生百寿時代。20年先の健康な暮らしを目指して

2024年

5月18日 土

13:00~15:00(開場12:30)

会場

大阪市立総合医療センター
さくらホール

大阪市都島区都島本通2-13-22
大阪メトロ谷町線「都島」駅下車、2番出口から西へ徒歩3分
JR環状線「桜ノ宮」駅下車、東出口から北東へ徒歩7分

開会挨拶 大阪市立総合医療センター

病院長 西口 幸雄

第1部

「いつまでも元気に歩こう！」
～股関節と膝関節のお話～

座長 大阪公立大学医学部附属病院

副院長 柴田 利彦

講演者 大阪市立総合医療センター 整形外科担当部長

松浦 正典

第2部

「生活から始める認知症の
予防法と対処法」

座長 大阪市立総合医療センター

病院長補佐 川崎 靖子

講演者 大阪公立大学医学部附属病院

脳神経内科部長 伊藤 義彰

閉会挨拶 大阪公立大学医学部附属病院

病院長 中村 博亮

主催 大阪市立総合医療センター・大阪公立大学医学部附属病院

後援 大阪市・大阪府・大阪商工会議所

お問い合わせ 大阪市立総合医療センター 地域医療連携室

TEL 06-6929-1221 (代表)

入場無料

定員250名

手話通訳あり

申込不要



健活10
Osaka wellness action

「いつまでも元気に歩こう！」

～股関節と膝関節のお話～

大阪市立総合医療センター
整形外科担当部長 松浦 正典

日本の平均寿命は、男性82歳、女性88歳（2022年）と年々延びてきており、世界一の長寿社会を迎えています。高齢化が進む一方、種々の原因で寝たきりになり介護が必要となることも多く、その原因の約25%が運動器の障害と言われています。運動器の障害の中には、股関節・膝関節の痛みが主な症状である変形性関節症が含まれます。股関節・膝関節の痛み悩まされている方は非常に多く、悪化すれば、歩行困難となることもあり、趣味やスポーツのみならず、今までの生活レベルが維持出来なくなることもあります。

今回の講座では、変形性関節症にならない予防方法、症状が出た場合の保存治療、さらに歩行困難となった場合の人工関節置換術について最新のトピックスも含め解説したいと思います。人生百寿時代、股関節・膝関節の痛みに負けずいつまでも元気に歩けることを目指しましょう！

「生活から始める認知症の予防法と対処法」

大阪公立大学医学部附属病院
脳神経内科部長 伊藤 義彰

高齢化社会の中で、認知症は急増しています。この認知症の原因の過半数はアルツハイマー病ですが、そのほかに脳血管性やレビー小体型認知症などの病気があり症状もさまざまです。本講演では特にアルツハイマー病を取り上げ、その原因について知っておくべき基礎知識をお話し、さらに最近認可された初期アルツハイマー病の治療薬、かねてからある対症療法薬などの薬剤治療についてご説明します。

一方、こうした薬剤の効果は限定的であり、発症予防、進行抑制には生活習慣の改善が重要であることが明らかとなってきています。さらに家族の対応を含めた環境調整は患者様の日常生活レベルADLの維持だけでなく、疾患の進行抑制に極めて重要であることが分かってきました。本講演ではこうした最新の情報をご紹介します。

会場周辺地図



【電車でご来院の方】

（最寄り駅からの案内）

Osaka Metro（谷町線）都島駅 2番出口から西へ徒歩3分
JR西日本（大阪環状線）桜ノ宮駅 東出口から北へ徒歩7分

【バスでご来院の方】

- 10 天満橋（大阪府）～守口車庫前
- 45 総合医療センター前 [玄関前]-諸口
- 57 毛馬中央公園-京橋駅前
- 78 大阪駅前-守口車庫前
- 83 大阪駅前-花博記念公園北口

（最寄り駅からの案内）

大阪シティバス「総合医療センター前」下車